



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月28日

上場会社名 田岡化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4113 URL http://www.taoka-chem.co.jp
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 佐々木 康彰
 問合せ先責任者(役職名) 事業支援室部長 (氏名) 勝本 泰仁 (TEL) 06-7639-7400
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	16,855	6.0	1,829	0.0	1,867	0.3	1,336	5.4
2021年3月期第2四半期	15,901	33.5	1,829	115.6	1,861	114.4	1,268	100.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,329百万円(4.0%) 2021年3月期第2四半期 1,278百万円(105.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	93.25	—
2021年3月期第2四半期	88.50	—

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	28,279	16,309	57.7
2021年3月期	27,958	15,237	54.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 16,309百万円 2021年3月期 15,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	70.00	—	90.00	160.00
2022年3月期	—	90.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	18.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行ったため、2022年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2022年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は90円となり、1株当たり年間配当金は180円となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	2.9	3,000	△25.3	3,000	△26.2	2,100	△19.7	146.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	14,440,000株	2021年3月期	14,440,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年3月期2Q	111,140株	2021年3月期	111,140株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	14,328,860株	2021年3月期2Q	14,330,358株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての事項等については添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の配当および連結業績予想について)

当社は、2021年6月24日開催の取締役会において、株式分割について承認可決され、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を実施しました。なお、株式分割を考慮しない場合の2022年3月期の配当予想および連結業績予想は以下の通りです。

(1) 2022年3月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 90円00銭

(2) 2022年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

期末 732円74銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、樹脂原料や農薬中間体が減収となった一方、ゴム薬品やワニスの増収により168億55百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて9億53百万円の増収となりました。

損益面におきましては、営業利益は18億29百万円（前年同四半期比0百万円増）、経常利益は18億67百万円（同6百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億36百万円（同67百万円増）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第2四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	10,595	66.6	9,996	59.3	△598	△5.7
機能材部門	1,324	8.3	1,964	11.7	640	48.3
機能樹脂部門	1,807	11.4	2,312	13.7	505	28.0
化成品部門	1,917	12.1	2,292	13.6	375	19.6
化学工業セグメント	15,644	98.4	16,566	98.3	922	5.9
その他	257	1.6	289	1.7	31	12.4
合 計	15,901	100.0	16,855	100.0	953	6.0

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、165億66百万円となり、前年同四半期と比べて9億22百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

電子材料の出荷数量は増加したものの、樹脂原料や農薬中間体の販売が減少したことにより、売上高は99億96百万円となり、前年同四半期と比べて5億98百万円の減収となりました。

(機能材部門)

接着剤およびゴム薬品ともに需要が回復したことにより、売上高は19億64百万円となり、前年同四半期と比べて6億40百万円の増収となりました。

(機能樹脂部門)

紙用加工樹脂の需要回復およびワニスの順調な需要拡大により、売上高は23億12百万円となり、前年同四半期と比べて5億5百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤は、需要の回復により出荷数量が増加したため、売上高は22億92百万円となり、前年同四半期と比べて3億75百万円の増収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、産業廃棄物分析は減少したものの、組成・構造解析や石綿分析などが増加したことにより2億89百万円となり、前年同四半期と比べて31百万円の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて2億56百万円増加し、166億80百万円となりました。これは、主としてその他に含まれる預け金の減少を、受取手形及び売掛金や現金及び預金の増加が上回ったことによるものです。

固定資産は、事務研究棟・研究別館レイアウト変更工事等による有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定の増加や、関係会社出資金等の増加により、前連結会計年度末と比べて63百万円増加し、115億98百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産額は282億79百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億20百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、その他に含まれる設備関係債務や賞与引当金は増加したものの、支払手形及び買掛金やその他に含まれる未払金が減少したことから、前連結会計年度末と比べて6億1百万円減少し、88億99百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億48百万円減少し、30億70百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて7億50百万円減少し、119億69百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて10億71百万円増加し、163億9百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月12日に公表した2022年3月期第2四半期連結業績予想と本日公表の同期実績に差異についてお知らせいたします。また、通期の連結業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 第2四半期業績予想との差異について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,000	1,400	1,400	1,000	69.78
第2四半期実績 (B)	16,855	1,829	1,867	1,336	93.25
増減額 (B-A)	855	429	467	336	
増減率 (%)	5.3	30.7	33.4	33.6	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	15,901	1,829	1,861	1,268	88.50

2. 通期業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当 期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,000	3,700	3,700	2,600	181.44
今回発表予想 (B)	33,000	3,000	3,000	2,100	146.55
増減額 (B-A)	△1,000	△700	△700	△500	
増減率 (%)	△2.9	△18.9	△18.9	△19.2	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	32,057	4,015	4,062	2,615	182.52

※ 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い1株当たり四半期(当期)純利益は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

差異および修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間の売上高は、ゴム薬品やワニス、可塑剤、電子材料などの増収により、当初想定を上回りました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期会計期間での連続操業などによる効率的な生産による原価の低減を行ったことや、固定資産除却損の発生が少なかったことから、前回発表時の予想を上回りました。

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、ゴム薬品やワニス、可塑剤、電子材料などの増収を見込んでいたものの、需要家の在庫調整による樹脂原料の減収に伴い、売上高は当初予想を下回る見通しとなっております。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、減収や原料価格上昇の影響等により当初予想を下回る見込みとなっております。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,354	1,415,425
受取手形及び売掛金	5,387,325	5,979,006
商品及び製品	3,698,337	3,518,476
仕掛品	293,703	130,229
原材料及び貯蔵品	2,246,707	2,687,551
その他	3,967,440	2,949,947
流動資産合計	16,423,869	16,680,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,909,583	9,092,207
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,532,326	△5,639,176
建物及び構築物(純額)	3,377,257	3,453,031
機械装置及び運搬具	22,234,782	22,297,120
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,511,194	△18,912,991
機械装置及び運搬具(純額)	3,723,588	3,384,129
その他	4,811,827	5,115,265
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,813,353	△1,873,406
その他(純額)	2,998,473	3,241,858
有形固定資産合計	10,099,318	10,079,019
無形固定資産	34,723	44,086
投資その他の資産		
その他	1,401,248	1,476,148
貸倒引当金	△700	△700
投資その他の資産合計	1,400,548	1,475,448
固定資産合計	11,534,590	11,598,554
資産合計	27,958,460	28,279,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,892,483	5,488,583
1年内返済予定の長期借入金	355,355	355,960
未払法人税等	747,984	583,448
賞与引当金	457,575	514,074
その他	2,047,597	1,957,066
流動負債合計	9,500,995	8,899,132
固定負債		
長期借入金	200,000	50,000
退職給付に係る負債	2,603,756	2,611,319
その他	415,814	409,292
固定負債合計	3,219,570	3,070,611
負債合計	12,720,566	11,969,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	12,600,052	13,678,308
自己株式	△39,513	△39,513
株主資本合計	15,141,294	16,219,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,090	53,370
為替換算調整勘定	19,257	19,873
退職給付に係る調整累計額	26,250	16,652
その他の包括利益累計額合計	96,599	89,896
純資産合計	15,237,893	16,309,447
負債純資産合計	27,958,460	28,279,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	15,901,230	16,855,207
売上原価	12,533,702	13,259,905
売上総利益	3,367,528	3,595,301
販売費及び一般管理費	1,537,911	1,765,507
営業利益	1,829,617	1,829,793
営業外収益		
受取利息	1,446	2,566
受取配当金	18,526	20,107
その他	16,346	16,436
営業外収益合計	36,320	39,111
営業外費用		
支払利息	2,119	1,515
その他	2,792	7
営業外費用合計	4,911	1,522
経常利益	1,861,026	1,867,382
特別損失		
固定資産除却損	79,986	4,120
特別損失合計	79,986	4,120
税金等調整前四半期純利益	1,781,039	1,863,261
法人税、住民税及び事業税	520,649	547,691
法人税等調整額	△7,806	△20,605
法人税等合計	512,843	527,085
四半期純利益	1,268,195	1,336,175
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,268,195	1,336,175

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	1,268,195	1,336,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,195	2,279
為替換算調整勘定	△2,732	615
退職給付に係る調整額	△4,166	△9,597
その他の包括利益合計	10,296	△6,702
四半期包括利益	1,278,492	1,329,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,278,492	1,329,473
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差額の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰り延べております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は、有償支給取引について有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。この結果、従前の会計処理と比較して、当第2四半期連結会計期間末の原材料及び貯蔵品は85,304千円、流動負債その他は85,304千円それぞれ増加しております。

なお、収益認識会計基準等の適用による損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。